

研究所だより

第421号
2020年11月18日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“ しずかな しずかな 里の秋 おせどに木の実の 落ちる夜は
ああ かあさんと ただ二人 栗の実にてます いろりばた ”
『里の秋』 童謡・抒情歌 1945年



～晩秋～

暦の上では「立冬、小雪」と季節は冬です。北国から雪の便りが届く頃ですが、まだ本格的な冬の訪れではありません。雪といってもさほど多くないことから、小雪といわれたものさうです。陽射しが弱くなり紅葉が散り始める頃で、イチヨウや柑橘類は黄色く色づいてきます。次第に冷え込みが厳しくなってきますので、「手洗い、うがい、マスク着用」など健康管理には充分にご留意ください。

(月刊日本教育 令和2年 10月号 No.501) から

発達障害について理解を深める 発達障害のグレーゾーン

半澤 嘉博 教授 (東京家政大学)

グレーゾーンとは何か

(1) 診断基準との関係

発達障害に関して「グレーゾーン」という言葉をよく見聞きします。その多くは、発達障害と思われる特性や症状があっても、診断基準に合わなかったり、また、診断を受けていなかったりしている場合に使われます。英国のウィング児童精神科医が指摘するように、発達障害は正常と異常の境目が明確ではなく、連続的なスペクトラムであり、だれでも発達障害の特性が少しはあるものと考えられています。そして、日常生活や学習、仕事、人間関係等に支障をきたしている状態かどうかによって、同じような症状でも、診断があったりグレーゾーンだったりすることがあるということです。



(2)見過ごされる困難さ

このようなことから、本来であれば、診断基準に達していても、見過ごされたり、見落とされたりしている場合もあります。例えば、学習障害やADHDに似た気になる行動がみられて、保護者や周囲の大人が心配していても、まだ、年齢が低く、限られた環境の中では、特に大きな問題が生じないのであれば、確定診断が得られない場合があります。児童虐待や愛着障害等との違いや重なりが明確でない場合もあります。また、自閉症スペクトラム(ASD)の中には、検査場面や環境等によっては目立った特性が現れにくいタイプもあります。特定不能の広汎性発達障害の人が、グレーゾーンとされやすいと指摘する専門家もいます。



しかし、グレーゾーンだからといって、日常生活や学習場面での困難さが少ないかということ、そうではありません。逆に、周囲の理解やサポートが受けられにくく、「どうして失敗ばかりするのだろう」「どうしたらいいのか」「自分自身に嫌気がさしてくる」等と、原因が分からず辛い思いをしていることも少なくありません。

グレーゾーンの課題と対応

グレーゾーンの人々の生活面や学習面等の課題は、年代によって異なり、その状況に応じた対応が重要です。各段階での課題と対応を以下示します。

(1) 乳幼児段階

乳幼児期の段階では、発達障害の特性は見つけにくいものです。しかし、日々の成長や発達の様子を観察していると、多少気になることが見られます。その気になることを放っておかないことが大切です。



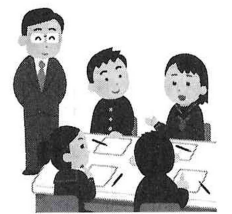
また、保護者が気づかなくても、保育所や幼稚園で気づくこともあります。専門家など協力を得て、早目に家庭と連携して、保育所、幼稚園等でできる対応や環境整備を考えて行くことが重要です。

また、乳幼児健診やその他の母子保健サービスを活用することも大切です。発達には凹凸があるのは当然です。確定診断が得られなくとも、全般的な発達水準や、対人コミュニケーション行動、こだわり等での対応について助言等をもらうことが有効な支援につながります。

さらに、保護者の不安が強ければ、ペアレンティング・トレーニング等を活用し、虐待や強制、叱責等をなくし、家庭での環境、声かけ、遊び、生活リズム等の観点からの配慮や工夫ができるよう、家庭支援を行っていくことが大切です。

(2) 小中学校段階

グレーゾーンの子どもたちも、学校生活の中での対人的トラブルや、学習面での困難さが目立ってきます。しかし、原因が分からないため、学校や家庭でも「どうしてこんなこともできないの?」「またなの?」等と叱責され、周りの子どもたちからも、「またかよ」「いい加減にしろよ」等と非難されることもあります。



このような状況が積み重なると、自己肯定感が下がり、集団の中での疎外感を感じるようになってきますので、いじめや不登校等が生じないように、日々の様子や状態を観察し、本人や学級全体への指導や支援を行うことが重要です。

また、グレーゾーンの子どもは、合理的配慮の提供の対象とはならない場合があります。しかし、それでも、すべての子どもたちが理解しやすい授業となるようユニバーサルデザイン化を図るとともに、必要に応じて個別支援や環境整備を行っていく対応が望まれます。

さらに、グレーゾーンでも通級による指導を受けることができる場合があります。保護者とよく相談して、専門的な指導や支援を得ることも効果的です。苦手な面については、多少目をつむり、得意な分野を見つけ、伸ばしていくことが、この時期最も大切な対応ではないかと考えます。「グレー」と否定的に捉えるのではなく、他の人とちょっと違った「虹色」の個性をもつ特別な子どもであるとの認識を大切にしてください。

(3) 高等学校段階

高校進学に関しても、個性を活かせる高校、落ち着ける環境の高校を選ぶことが大事です。最近では、発達障害の生徒を受け入れる高校や通信制のサポート校等、選択肢が広がってきています。しかし、高校段階での特別支援教育の体制整備は、小中学校と比べてまだ充分ではありません。高校段階では、低学力そのものが、進路選択などの障害となる現状もありますので、基礎学力を向上させる指導とともに、個人の特性を最大限活かし、可能性を伸ばす指導が重要です。また、大学進学や就労への希望や生活面での充実へのニーズもでてきますので、その対応としての支援や助言が求められます。

高校段階での指導においては、特に、目の前の生徒と向かい合い、先入観を持たず、柔軟に、かつ継続的に支援していくことが大切です。また、将来の生活や職業等での困難さを想定して、自分に発達障害の傾向の苦手さがあることを隠さず、自分でできる予防策や対応策を身に付けることを励まし続けていくことが望まれます。

<第70次土佐清水市教育研究集会・半日教研特集>

11月4日(水)に各部会研究授業を主体とした半日教研が開催されました。それぞれの部会で研究授業や講師招聘しての研修、日々の実践交流等、活発な研究協議や情報交換ができたものと思われま。部会の公開授業・研究協議等の様子を紹介します。

〔社会科部会〕(足摺岬小)
3・4年「翔べ、少年万次郎(絵本)」



〔算数・数学部会〕(足摺岬小)
6年「比例の関係をくわしく調べよう」



〔図工部会〕(三崎小)
1年「いっしょにおさんぽ(粘土工作)」



〔養護部会〕(給食センター)
「児童生徒の健康と食育(教材について)」



〔人権教育部会〕(清水小)
3-2「やさしいまちづくり」



☆第2回教育研究所運営審議会

11月9日(月)に第2回教育研究所運営審議会を開催しました。本年度前期(4月~10月)の主な事業の取組として、下記の9項目について協議をしました。

1. 教職員の資質・指導力の向上の取組について
 - (1) 転任教職員研修会の開催(①6/29 ②8/21)
 - (2) 研究協力校(三崎小・足摺岬小)を中心に各校の公開授業・校内研修会等への参加
2. 授業力の向上の取組について
 - (1) 教育研究活動による事業 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全体会を取り止める
 - ①教研(組織5/13、一日8/5、半日11/4、総括1月予定)活動
 - ②教研推進委員会の運営(①4/23 ②7/20 ③10/5 ④12/7 ⑤2月予定)
 - (2) 教育研究推進による事業: 研究協力校2校(三崎小・足摺岬小)
 - (3) 学力向上検討委員会(連携事業)への参加・支援(①8/25 ②2月初旬予定)
3. 豊かな心と健やかな体の育成の取組について
 - (1) 定期的な学校訪問(市内の現状)
 - (2) SSW・SC(アウトリーチ型)との連携
 - (3) 適応指導教室「あすなる教室」との連携(利用児童生徒・卒業生の状況)
 - (4) 特別支援教育コーディネーター「あすなるネットワーク」連絡協議会の開催
年4回: ①7/2 計画 ②8/28 事例研修(講師招聘) ③11/24 事例研修(講師招聘) ④1月中旬 総括
4. 特別支援教育支援について
特別支援教育研究会の活動(交流会等)に参加
5. 情報教育に関する事業について
HPの更新等の支援
6. 資料収集に関する事業について
教育資料・DVDの購入と紹介(研究所だより・HPで周知、会議室展示)
7. 刊行物
 - ①研究所だよりの発刊(4月・414号 ~ 10月・420号)
 - ②社会科副読本「土佐清水市の暮らし」(3・4年生用)の改訂版編集委員会の開催(現状報告)
8. 教育研究所運営審議会について
年3回: ①6/9 事業計画 ②11/9 前期実績 ③3月初旬予定 年間実績
9. 教育研究所連絡協議会について *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため①②中止となる
年2回: ①春季連絡協議会(教育センター) 5/22 ②秋季連絡協議会(仁淀川町大会) 11/27

=教研関係提出物について=

○各部会		○研究協力校	
* 部会決算書提出	12月24日(木)	* 研究集録原稿	1月29日(金)
* 事業実績報告書	1月29日(金)	* 決算書・実績報告書	2月17日(水)
* 総括教研部会報告書	1月29日(金)		
* 研究集録原稿	1月29日(金)		

